

会 告 目 次

平成 5 年度第 35 回 通常総会の開催について	色紙
「DA シンポジウム '93」論文募集	色紙
アンケート用紙	色紙
研究発表会開催通知	2
第 26 回 コンピュータと教育研究会	2
第 1 回 音楽情報科学研究会 (新設)	3
第 46 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (数値解析研究会)	3
第 1 回 グループウェア研究会 (新設)	4
「学会誌特集 세미나: ファジィ理論と情報処理」開催について	7
一般情報教育公開シンポジウムのお知らせ	9
支部だより	9
「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」開催について	10
チュートリアル「オブジェクト指向分析・設計」開催について	16
「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集	18
「知識のリフォーメーション」シンポジウム論文募集	19
ISADS 93—ADVANCE ANNOUNCEMENT	20
新年度にあたって (お願い)	22
事務局との e-mail 試行開始のお知らせ	23
本会協賛等の行事案内	24
会 議 案 内	25
教 官 募 集	27
雑 報	28
編 集 室	28

研究発表会開催通知

(平成5年3月15日～4月30日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
情 報 シ ス テ ム	3月16日(火)	10:00～17:00	日本ユニシス	前号参照
ア ル ゴ リ ズ ム	3月18日(木)	9:00～17:15	九 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	3月18日(木)	9:30～17:30	機械振興会館	同 上
自 然 言 語 処 理	3月18日(木) 3月19日(金)	13:00～17:10 10:00～16:40	国立国語研	同 上
オ ペ レ ー テ ィ ン グ ・ シ ス テ ム	3月19日(金)	10:30～16:30	機械振興会館	同 上
記 号 処 理	3月19日(金)	13:00～17:00	NTT(武蔵野)	同 上
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	3月22日(月)	9:30～17:00	機械振興会館	同 上
数 値 解 析	3月22日(月)	13:30～17:00	統 数 研	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	4月10日(土)	10:00～17:00	機械振興会館	下記参照
*音 楽 情 報 科 学	4月23日(金)	14:00～16:45	I C O T	同 上
ハ イ パ フ ォ ー マ ン ス コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ (数 値 解 析)	4月26日(月)	10:00～17:30	K K R 東 京 竹 橋 会 館	同 上
*グ ル ー プ ウ ェ ア	4月28日(水)	10:00～17:00	機械振興会館	同 上

*新設

◆ 第26回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 18件)

(主査: 一松 信, 幹事: 三好和憲, 矢野米雄, 吉田瑞穂)

日 時 平成5年4月10日(土) 10:00～17:00 (*午前中のみ2会場の開催)

会 場 機械振興会館 6階 66号室(A会場)

67号室(B会場)

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車,
バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211]

議 題 特集: 知的 CAI/マルチメディア/認知科学

A会場 (66号室) —10:00～12:15—

(1) 知的教育用アセンブラシミュレーション

渋谷二三男 (城西大女子短大), 石井 宏 (城西大), 竹本宣弘 (工学院大)

(2) 個別演習形式の集団学習における支援メカニズムについて

波多野和彦 (埼玉大)

(3) 日本語の学習を支援するシステム

榎本圭孝, 劉 軟, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

(4) UNIX コマンドの学習を支援するシステム —エージェントモデルからのコマンド列生成とその検証—

高橋昌威, 土屋繁樹, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

(5) 受験者モデルに基づく出題を行う適応型テストシステムの開発

藤原康弘, 永岡慶三 (神戸大)

—13:15～17:00—

(6) 音にかかわる世界のシミュレーション (サウンドアドベンチャー)

山本秀人, 栗林茂次, 国重誠之 (コンピュータ教育開発センター), 岡本敏雄 (電通大)

(7) マクロ経済モデルの協調型シミュレーション (エコノディスカバリ)

山本秀人, 栗林茂次, 国重誠之 (コンピュータ教育開発センター), 岡本敏雄 (電通大)

(8) 手続き的問題解決における学習者モデリング (2)

松田 昇, 岡本敏雄 (電通大)

(9) 漢字熟語学習のための環境型知的 CAI システムの構築 (3) 三好克美, 林 敏浩, 矢野米雄 (徳島大)

- (10) 英会話を対象とした環境型知覚 CAI システム —学習者の誤り同定とそれに基づく探索学習の実現—
宮本浩伸, 岡本 竜, 矢野米雄 (徳島大)
- (11) 意味ネットワークとアクター・モデルによる概念学習支援のルール化 —「国際投資」を例にして—
チア・ブンソン (名古屋商科大), 磯本征雄, 吉根勝美 (名古屋市立大)
- (12) 対話型物理学習環境 IPE のマルチメディア化
対馬勝英, 植野雅之, 早野秀樹 (大阪電通大), 藤井研一 (阪大)
- (13) 論理回路シミュレーション
生方俊典 (都立航空工専), 吉田信也 (千葉訓練短大), 大原栄一郎 (大東産商)

B会場 (67号室)

—10:00~12:15—

- (14) ハイパーカードで BASIC を学ぶ CAI ソフト, MacBASIC の制作について 中田 平 (金城学院大)
- (15) ハイパーメディアと構造的シラバス —日本語教育機関における夢と現実— 西郡仁郎 (東京外語大)
- (16) 映像資料データベースのためのデータ蓄積・検索のファジィ論的方法
吉根勝美, 磯本征雄 (名古屋市立大), 石井直広 (名工大)
- (17) パソコンを利用した大学工学実験の理解度の評価 茂吉雅典, 磯本 博 (大同工業大)
- (18) ハイパー科学館 CD-ROM の制作過程 中田 平 (金城学院大)

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (人工知能と知識処理研究会), CAI 学会との共催で開催されます。

◆第1回 音楽情報科学研究会 (新設)

(発表件数: 5 件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 嶋津武仁, 志村 哲, 鈴木 孝)

日 時 平成 5 年 4 月 23 日 (金) 14:00~16:45

会 場 ICOT ANNEX A-1 会議室

(東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル ANNEX, JR: 田町下車, 徒歩15分, または地下鉄 (都営三田線): 芝公園下車, 徒歩 5 分 (済生会病院隣). Tel. 03 (3456) 2511)

議 題

- (1) 音楽音響信号を対象とする音源分離システム: 音モデルに基づくアプローチ

中台一博, 柏野邦夫, 田中英彦 (東大)

〔概要〕 音モデルとの照合に基づいた音源分離システムの構成と実装, および評価実験の結果について述べる。

- (2) Musical Concept and System Design of “Chaotic Grains” 長嶋洋一 (Art & Science Laboratory)

〔概要〕 「電楽」で初演されたコンピュータ音楽作品 “Chaotic Grains” の音楽的背景とシステムについて。

- (3) ドラムパッドを利用した実演音とクリック音との聴覚的ずれ検出装置について

西井雄一郎, 栗本育三郎 (木更津高専)

〔概要〕 パッドから伝えられる信号とクリック音との時間差の測定から, 限りなく正確なリズム感を養う。

- (4) モンゴルの歌唱法「ホーミー」の音響的特徴の解析

武田昌一, 糸賀昌士 (帝京技科大)

〔概要〕 2 声のように聞こえるホーミー音声のスペクトルの特徴を種々の音韻と音高のデータについて解析した。

- (5) F_0 と F_2 の高さを同時に知覚させる歌唱法「ホーミー」について

山田真司, 杉村信彦, 安東泰宏, 中山一郎 (大阪芸大)

〔概要〕 「ホーミー」の高さは, 基本周波数と振幅変調を含む第 2 ホルモントに対応することが分かった。

◆第46回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (数値解析研究会)

(発表件数: 12 件)

(主査: 福井義成, 幹事: 土谷 隆, 長嶋雲兵, 吉原郁夫)

名称変更のお知らせ: 研究会活動の活性化のため, 旧数値解析研究会 (NA) を「ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (HPC)」と名称変更いたしました。ハイパフォーマンスコンピューティングは直訳すれば高性能計算ですが, この「高性能」は単に高速度であるという意味に留まらず, 精度, 利用技術, 表現技術等といったコンピューティングシステムの高度な要素技術をすべて含むものと考えます。本研究会では要素技術だけを対象とするのではなく, システム化を目指しています。キーワードとしては高性能計算のためのシステム化技術を対象とした研究会です。

日 時 平成 5 年 4 月 26 日 (月) 10:00~17:30

会 場 KKR 東京竹橋会館 丹頂の間

(東京都千代田区大手町 1-4-1, 地下鉄 (東西線): 竹橋下車, 専用通路にて徒歩 2 分. Tel. 03 (3287) 2921)

議 題 特集: ハイパフォーマンスコンピューティングへの招待

—10:00~12:00—

●ハイパフォーマンスコンピューティングへの期待

- (1) HPC を目指して —NA からの飛躍—

福井義成 (東芝)

〔概要〕 13 年活動が続けた数値解析研究会が時流の要請で総合技術としての HPC に変貌した経緯と目的を述べる。

- (2) HPC への期待 —アーキテクチャの立場から— 富田眞治 (京大)
 [概要] 超高速・超並列処理の実現のために ARC と HPC 両研究会の果たすべき役割について述べる。
- (3) HPC への期待 —集積回路設計用 CAD の視点から— 安浦寛人 (九大)
 [概要] シミュレーションやレイアウト処理のほか論理検証や論理合成の分野での HPC への期待を述べる。
- (4) 数値計算からアーキテクチャへの要望 浜田穂積 (電通大)
 [概要] 標題の示す一例として、あふれの起こらない実数値表現法の必要性を具体例により述べる。

—13: 15~17: 30—

●ハイパフォーマンスコンピューティングの評価技術と実例

- (5) HPC の性能評価 —測定から科学へ— 関口智嗣, 佐藤三久 (電総研)
 [概要] HPC の性能評価は観測事象の報告に留まらず比較を可能とする。これを実現するガイドラインを述べる。
- (6) スーパーコンピュータの性能 —計算化学の立場から— 長嶋雲兵 (お茶の水女子大), 南部伸孝, 西本史雄 (分子科学研究所), 福嶋伸弘 (日本クレイ)
 [概要] 計算化学のパブリックドメインソフトを用いた超大型スーパーコンピュータの性能調査報告。
- (7) 等方乱流シミュレーションコードの性能評価 横川三津夫, 蕪木英雄 (日本原子力研究所)
 [概要] スペクトル法を用いた3次元等方乱流の数値シミュレーションコードの性能評価について述べる。
- (8) 多体問題専用計算機 GRAPE 戎崎俊一 (東大)
 [概要] 多体問題専用計算機 GRAPE(Gravity PipE)の開発状況とそれを用いたシミュレーション結果を報告。

●ハイパフォーマンスコンピューティングの要素技術

- (9) 拡張記憶の拡張主記憶としての仮想化 岡部寿男, 川端英之, 津田孝夫 (京大)
 [概要] ソースレベルのプログラム変換によりベクトル計算機の拡張記憶を主記憶の延長として使う方法を示す。
- (10) 高並列計算機におけるデータ並び換えの最適化 塚田晶宇, 津田孝夫 (京大)
 [概要] 並び換えに必要な通信フェーズ数の下界を導き、それに関連した実測結果について述べる。
- (11) 戸田分子方程式と商差法 十河 清 (計算流体力学研究所)
 [概要] 最近広田達によって提案された戸田分子方程式による固有値解法が商差法と等価であることを示す。
- (12) ユーザから見た超並列処理 小柳義夫 (東大)
 [概要] 並列処理の諸問題をユーザの立場から考察し対象のモデル化と言語モデルとの関係を分析する。

* 懇親会: 研究会終了後同会場にて懇親会を予定しております (参加費 6千円)。併せてご出席ください。

◆第1回 グループウェア研究会 (新設)

(発表件数: 10件)

(主査: 松下 温, 幹事: 岡田謙一, 守屋康正, 山上俊彦)

日時 平成5年4月28日 (水) 10: 00~17: 00
 会場 機械振興会館 6階 65号室 (所在地は前記参照)
 議題 —10: 00~12: 20—

- (1) 人間指向情報処理のすすめ —民族学的考察— 松下 温 (慶大)
 [概要] 外界からの刺激に対する人間の反応において民族学的考察から新しいグループワークの在り方を述べる。
- (2) ATM 網を用いた広帯域通信処理アーキテクチャの研究 江崎 浩, 斉藤 健 (東芝)
 [概要] 広帯域通信パイプを利用するための計算機アーキテクチャの問題点および課題を検討している。
- (3) 長期協調支援におけるシステム特性とグループ特性 山上俊彦 (NTT)
 [概要] 協調行動支援の利用の状況の一般的パラメータ化を試み、グループとシステムの特性の整合を論ずる。
- (4) 個人/協同作業フェーズを貫くデータ移出入モデル 市村 哲, 紙田 剛, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
 [概要] 個人/協同作業フェーズを貫いた版管理機構を実現し、両作業フェーズに連続性を持たせた。

—13: 30~17: 00—

- (5) 分散協調型 KJ 法支援システム郡元の学生実験への適用結果 堀切一郎, 宗森 純, 長澤庸二 (鹿児島大)
 [概要] 19インチ画面を持つ計算機3台で協調して KJ 法を行う郡元を学生実験に適用した結果を示す。
- (6) Clear Board-2 における協同作業空間と会話空間のシームレスな融合 小林 稔, 石井 裕 (NTT)
 [概要] ガラス板のメタファーをもとに、コンピュータ協同描画機能と映像通信を融合した Clear Board-2 の設計。
- (7) テレビ電話を応用した電子フォーラム事例の分析 黒須正明, 沖田京子 (日立)
 [概要] テレビ会議システムを利用した電子フォーラムでのサイト構成条件による参加者の反応を分析した。
- (8) フォースディスプレイを用いた仮想空間における協調作業 矢野博明, 中川隆志, 岩田洋夫 (筑波大)
 [概要] 複数のユーザが力覚フィードバックを与えられる仮想空間構築支援システムの開発を行った。
- (9) サイバースペースにおけるコミュニケーション 鈴木 元 (NTT)
 [概要] マルチユーザ型仮想空間におけるコミュニケーションの方式について検討結果を報告する。

(10) ソフトウェア開発プロジェクトの進捗管理に関する一方式

植山淳雄, 古宮誠一 (IPA)

〔概要〕 プロセスモデルとリリースの制約に基づき, 作業指示からリスク発見までを誘導する枠組を示す.

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第92回 研究会を下記のとおりに開催いたします。多数の発表申込をお待ちしています。

日 程 平成5年6月11日 (金)

会 場 日立製作所 中央研究所

議 題 一般および小特集: アーキテクチャ教育

発表申込締切 平成4年4月12日 (月)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名, 略称所属, 概要(46字以内), 発表申込者連絡先(住所, 氏名, Tel, FAX, E-mail)をご記入のうえ, 下記担当研究連絡委員宛, 電子メールまたはFAXで直接お申し込みください。なお, できるだけ電子メールでお願いいたします。

担当幹事 田中輝雄 (日立) E-mail: ttanaka@crl.hitachi.co.jp

Tel. 0423 (23) 1111 (内 3848) FAX 0423 (27) 7700

◆ オーディオビジュアル複合情報処理研究会 (新設)

音声, 映像を中心としたマルチメディアに関する研究会を新設しました。第1回目の研究会は, 「マルチメディアの将来ビジョンと研究課題」を設立記念テーマとして論文を募集します。奮ってご応募ください。

日 程 平成5年6月18日 (金) 午後

会 場 機械振興会館

発表申込締切 平成5年3月31日 (水)

◆ ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

第47回 研究会の発表論文を下記のとおりに募集いたします。奮ってご応募ください。

日 程 平成5年6月18日 (金)

会 場 工学院大学

特集テーマ ワークステーションにおける HPC

特集テーマ以外の講演も歓迎いたします。

発表申込締切 平成5年3月31日 (水)

◆ 設計自動化研究会

第67回 研究会を下記のとおりに開催いたします。多数の発表申込, および参加をお待ちしています。

日 程 平成5年6月25日 (金)

会 場 金沢大学

議 題 一般

発表申込締切 平成5年3月31日 (水)

◆ グループウェア研究会

第2回 研究会の発表論文を下記のとおりに募集いたします。

日 程 平成5年6月25日 (金)

会 場 工学院大学

発表申込締切 平成5年3月31日 (水)

◆ ソフトウェア工学研究会

「サマーワークショップイン大雪」論文募集

ソフトウェア工学研究会では, 下記の要領で, 第93回研究会をサマーワークショップとして開催いたします。

本ワークショップは, 大自然の中でソフトウェア工学の直面する問題の解決と将来像を求めて発表, 討議を行うとともに参加者相互の親睦を図ることを目的としています。奮ってご応募ください。

日 程 平成5年7月8日 (木)~9日 (金)

会 場 国立大雪青年の家 (北海道, 旭川市郊外)

議 題 ●設計方法論 ●開発プロセス ●CASE 環境 ●保守とリエンジニアリング

●ヒューマンインタフェースのソフトウェア

※上記のテーマセッションを設けますが, このテーマに限らず, 通常の発表論文も歓迎いたします。

発表申込締切 平成5年4月23日 (金)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要（46字以内）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel, FAX, e-mail）をご記入のうえ、下記連絡先宛、電子メール、FAX、または郵送でお申込みください。なお、できるだけ、電子メールでお願いいたします。

申込・問合せ先 211 川崎市中原区下小田中 2-12-5 富士通 複合交換機事業部 青山幹雄
e-mail: mikio@miki.nakahara.fujitsu.co.jp Tel. 044 (754) 4111 FAX 044 (754) 4223

*宿泊費（懇親会費込）は10,000円程度を予定しています。詳細は、前記青山までお問い合わせください。

◆ **情報メディア研究会**

第12回 研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日時 平成5年7月9日（金）10:00～17:00

会場 ソニー（東京）

議題 感性とメディア —芸術、エンタテインメント、コミュニケーション—

感性を刺激し感動をもたらす表現、表情などに関するメディアの研究あるいはそういったメディアがおよぼす影響などについて、上記3分野に限らず広く研究成果を求めます。

発表申込締切 平成5年4月21日（月）

問合せ先 ソニー コンピュータサイエンス研究所 竹内彰一 Tel. 03 (3448) 4380 FAX 03 (3448) 4273

*研究会に発表申込希望者は開催日の**3カ月前**までに研究会発表申込書（本欄末添付）を事務局研究会係までご送付ください。



「学会誌特集セミナ：ファジィ理論と情報処理」開催について

「ファジィブームはもはや去った」との声が聞かれるこの頃ではあるが、その一方で、製品にはもはやファジィの冠頭詞こそつけないが、その応用はますます広がりつつあるとの意見も強い。ファジィ制御は自動制御の分野での基本的方法論としての地位を確立し、技術としての成熟期を迎えている。ファジィ理論の研究者は新しい応用対象として情報処理諸分野に従来より一層興味をもち、他方、この分野の研究者の側からも、ファジィ理論への期待はより高まってきている。

ファジィ理論が、多くの情報処理技術者に知られなければならないと考えられるのは、ファジィ集合論が数値処理と論理演算／推論の両方の特徴を備えた方法論としては最も整備された構成をもっているからである。同時に、ファジィ理論の情報処理への応用は、制御への応用とは根本的に異なる面をもっている。ファジィ制御の場合、従来の制御とファジィ制御とは全く異なる数学モデルにもとづいていたため、伝統的な制御とは方法論的な断絶があり、そのため、かえってファジィ制御の特徴と有用性が認識されるのが容易であった。これに対して、ファジィを用いた情報処理と用いない情報処理との差はより微妙で、その特徴を認識するには、理論の基本を十分把握している必要がある。

このセミナでは、多くの応用事例においてこの理論を役立てていくために、ファジィ理論の基礎をさまざまな面からとりあげて平易に解説し、その理解を深めることを目的とする。講師には、情報処理学会誌の特集「ファジィ理論と情報処理」の執筆者を迎え、学会誌では述べられなかった点や、最近の動向を加えて具体的かつ分かりやすく説明していただく。ファジィ理論について興味あるいは疑問をもつ多くの技術者や研究者が本セミナに参加されることをお勧めいたします。

日 時 平成5年5月11日（火）
場 所 工学院大学3階312教室（新宿区西新宿）
参 加 費 会員15,000円、非会員20,000円、学生5,000円
（資料として学会誌「情報処理」34巻1号をご持参ください。）
学会誌をお持ちでない方には、1,600円でお頒けします。
申込締切 平成5年4月19日（月）

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ（10：00～10：10）	宮本 定明（徳島大）
ファジィ理論の基礎概念と情報処理への応用（10：10～11：10）	向殿 政男（明 大）
ファジィ理論による自然言語の意味表現（11：10～12：10）	馬野 元秀（阪 大）
——昼食（12：10～13：30）——	
ファジィ理論による回帰モデル（13：30～14：30）	中森 義輝（甲南大）
——休憩（14：30～14：50）——	
ファジィ理論とニューラルネットワーク（14：50～15：50）	林 勲（松下電器）
ファジィ関係に関する諸問題（15：50～16：50）	宮本 定明（徳島大）

「学会誌特集セミナー：ファジィ理論と情報処理」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 15,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 セミナ係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

一般情報教育公開シンポジウムのお知らせ

情報処理学会は文部省より「大学等における一般情報処理教育の在り方」に関する調査研究を委嘱され、大学関係者を中心に委員会を組織して研究を進めてまいりました。その結果がまとまりましたので、これをご報告すると同時に、広く関係者のご意見をいただきたく、公開シンポジウムを開くことにいたしました。多数の方の参加をお待ちしております。

日 時 1993年3月27日(土) 1時～5時30分
場 所 工学院大学312教室(3階)

~~~~~プログラム~~~~~

1:00～1:15	「一般情報処理教育の在り方」委員会報告	大岩 元(慶大)
1:15～1:45	リテラシー教育	河合 和久(豊橋技科大)
1:45～2:15	プログラミング教育	原田 悦子(法政大)
2:15～2:45	一般情報教育の基礎としての計算機科学	木村 泉(東工大)
——休憩(2:45～3:00)——		
3:00～3:30	創造教育としての情報教育	武井 恵雄(東北大)
3:30～4:00	法学部における情報活用能力とその教育	加賀山 茂(阪大)
——休憩(4:00～4:10)——		
4:10～5:30	全体討論	

参加費 無料(書面またはFAXで申込んでください)
申込締切 3月22日(先着300名)
申込先 情報処理学会シンポジウム係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル27F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

支部だより

東海支部 平成4年度東海支部奨励賞の表彰

平成4年度東海支部奨励賞は、平成5年1月29日(金)電気関係学会東海支部連合大会奨励賞として、下記の論文発表者1名に対し授与されました。

論文発表 平成4年度東海支部大会(電気関係学会東海支部連合大会)
平成4年10月16日～17日 名古屋工業大学
・日本語—ウイグル語機械翻訳システムの翻訳モデルについて
MUHTAR MAHSUT(名古屋大学工学部 昭和35年7月10日生)

「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」開催について

21 世紀に向けた超並列処理について、研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も、今回 5 回目を迎えることとなります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散、協調などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして、確立されてきております。今回も、並列処理に関する最先端の研究発表 52 件に加え、招待講演 2 件とパネル討論を予定し、白熱した議論が行われることを期待しております。多数の方々のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 5 (1993) 年 5 月 17 日 (月)～19 日 (水)
会 場 早稲田大学総合学術情報センター国際会議場 (東京都新宿区西早稲田 1-6-1)
主 催 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会、同・データベース研究会
同・オペレーティングシステム研究会、同・アルゴリズム研究会
同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会、同・数値解析研究会
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会
協 賛 日本ソフトウェア科学会、人工知能学会
参 加 費

	主催研究会会員	主催／協賛学会員	非 会 員	学 生
4 月 16 日まで	・ 18,000 円	・ 20,000 円	・ 25,000 円	・ 10,000 円
4 月 17 日以降	・ 23,000 円	・ 25,000 円	・ 30,000 円	

論文集のみ (送料込) : 5,000 円

- * 研究会会員／学会員の方は、参加申込書の氏名欄の後に研究会／学会名をご記入ください。
- * 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基準とします。

参加申込締切 平成 5 年 4 月 23 日 (金)
参加申込方法 本会告末尾の参加申込書によってお申し込みください。
参加申込先 (問合せ先) (社)情報処理学会 シンポジウム (JSPP '93) 係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

JSPP '93 セッション構成（暫定版）

		A 会 場	B 会 場	C 会 場
5/17 (月)	12：50～13：00	開会の辞・実行委員長挨拶		
	13：00～14：30	招待講演（1） ・未定		
	15：00～16：30	通 信	並列化コンパイラ（1）	探索問題／データベース
	16：30～17：00	コーヒーブレイク		
	17：00～18：00	超並列マシン	並列化コンパイラ（2）	
5/18 (火)	10：00～11：00	同 期	並列化コンパイラ（3）	FPGA 応用
	11：00～11：30	コーヒーブレイク		
	11：30～13：00	ネットワーク	並列プログラミング言語 （1）	アルゴリズム
	13：00～14：30	昼 食		
	14：30～16：00	招待講演（2） ・未定		
	16：00～16：30	コーヒーブレイク		
	16：30～18：00	共有メモリ	並列プログラミング言語 （2）	スケジューリング
	18：00～18：30	懇 親 会		
5/19 (水)	10：00～11：00	プロセッサ	配線問題	データフロー
	11：00～11：30	コーヒーブレイク		
	11：30～13：00	負荷分散	数値計算	プログラミング環境
	13：00～14：30	昼 食		
	14：30～17：00	パネル・ディスカッション ・未定		
	17：00～17：10	開会の辞・プログラム委員長挨拶		

会
告

JSPP '93 プログラム (暫定版)

日 時 1993年5月17日(月)～19日(水)

会 場 早稲田大学総合学術情報センター国際会議場

——第1日 5月17日(月)——

◇開会の辞・実行委員長挨拶 (12:50～13:00, A会場)

村岡 洋一

◇招待講演 (1) (13:00～14:30, A会場)

座長: 村岡 洋一 (早大)

●未定

◇通信 (15:00～16:30, A会場)

座長: 天野 英晴 (慶大)

●超並列計算機に要求されるデータ転送能力とデータ並べ替え 佐藤隆士(大阪教育大), 津田孝夫 (京大)

●細粒度並列処理におけるレイテンシ隠蔽効果の評価

平木 敬 (電総研/東大), 島田俊夫 (名大), 関口智嗣 (電総研)

●メッセージ通信の分散メモリ型並列計算機性能への影響—通信と演算のオーバーラップと直接メッセージ受信の効果— 堀江健志, 小柳洋一, 今村信貴, 林 憲一, 清水俊幸, 石畑宏明 (富士通研)

◇並列化コンパイラ (1) (15:00～16:30, B会場)

座長: 笠原 博徳 (早大)

●並列化支援環境 Presto における分散メモリ対応機能 蒲池恒彦, 妹尾義樹 (NEC), 松野繁男 (NECS)

●数値シミュレーション向き高水準言語 DEQSOL の分散メモリ型並列計算機向けトランスレーションに関する一考察 大河内俊夫, 金野千里(日立), 猪貝光祥 (日立超 LSI エンジニアリング)

●分散メモリ型並列計算機の自動並列化コンパイラ—Inspector/Executor アルゴリズムの高速化—

窪田昌史, 大野和彦, 三吉郁夫, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

◇探索問題/データベース (15:00～16:30, C会場)

座長: 瀧 和男 (神戸大)

●プライオリティ制御機構を有する OR 並列 Prolog の探索問題への応用

松田秀雄 (神戸大), 鈴鹿重雄 (野村総研), 金田悠紀夫 (神戸大)

●New results in finite algebra by a parallel model generation theorem prover

Masayuki Fujita, Fumihiko Kumeno (三菱総研)

●Transitive Closure Evaluation of Database Relations on Massively Parallel Computer MasPar MP-1

Xiaofang Zhou, Maria E. Orlowska, Yanchun Zhang (Univ. of Queensland)

◇超並列マシン (17:00～18:30, A会場)

座長: 石井 光雄 (富士通研)

●マルチパラダイム超並列 TFLOPS マシンにおける並列処理～プロセッサ間チェイニングとその応用～

田邊 昇 (東芝)

●超並列計算機 RWC-1 の基本構想

坂井修一(電総研), 岡本一見, 松岡浩司, 廣野英雄 (RWC),

児玉祐悦, 佐藤三久 (電総研), 横田隆史 (三菱)

◇並列化コンパイラ (2) (17:00～18:00, B会場)

座長: 石川 裕 (電総研)

●OSCAR マルチグレインコンパイラにおける階層型マクロデータフロー処理手法

岡本雅巳, 合田憲人, 宮沢 稔 (早大), 本多弘樹 (山梨大), 笠原博徳 (早大)

●実行開始条件による並列性検出手法—ループへの拡張

本多弘樹 (山梨大), 合田憲人, 岡本雅巳, 笠原博徳 (早大)

——第2日 5月18日(火)——

◇同期 (10:00～11:00, A会場)

座長: 柴山 潔 (京都工繊大)

●スタティックスケジューリングを用いたマルチプロセッサ上の無同期細粒度並列処理

尾形 航, 吉田明正, 合田憲人, 岡本雅美, 笠原博徳 (早大)

●バリア同期モデル—Taxonomy と新モデルの提案, および, モデル間性能比較—

山家 陽, 村上和彰 (九大)

◇並列化コンパイラ (3) (10:00～11:00, B会場)

座長: 山名 早人 (早大)

●データフロー解析に基づく関数型言語 Valid の並列化コンパイラ

- 「幅優先法」による再帰的手続きの自動ベクトル化・並列化 高橋英一, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)
- ◇FPGA 応用 (10:00~11:00, C会場) 上原哲太郎, 津田孝夫 (京大)
- 仮想ハードウェアに基づくデータ駆動型計算機 WASMII 座長: 中田登志之 (NEC)
- 汎用エンジン RM-II の構成 凌 曉萍, 天野英晴 (慶大)
- ◇ネットワーク (11:30~13:00, A会場) 富田昌宏, 菅沼直昭, 澄川文徳, 平野浩太郎 (神戸大)
- 超並列計算機のための相互結合網シミュレータ 座長: 杉江 衛 (日立)
- 並列計算機 ADENARTx における転送方法とデッドロックフリールーティング方式 柴村英智, 久我守弘, 末吉敏則 (九工大)
- 分割再構成可能なトラスネットワーク 岡林一郎, 西川順二, 貴志哲司, 狩野信吾 (松下電器), 杉村幸夫 (松下電子), 桑田有理, 金子克幸 (松下電器)
- 林 憲一 (富士通研), Isaac Chuang (Stanford University), 堀江健志 (富士通研)
- ◇並列プログラミング言語 (1) (11:30~13:00, B会場) 座長: 上田 和紀 (NEC)
- 並列計算機 EM-4 の並列プログラミング言語 EM-C 佐藤三久, 児玉祐悦, 坂井修一, 山口喜教 (電総研)
- LAN 上での Linda タプル管理方式について 松田哲史, 武並佳則 (住友電気工業)
- 並列論理型言語 GHC に対する OR-Compositional な意味論 加藤 暢, 村上昌己 (岡山大)
- ◇アルゴリズム (11:30~13:00, C会場) 座長: 安浦 寛人 (九大)
- 探索問題に対するメッシュバス上での並列アルゴリズム 堀川 豊, 岩間一雄 (九大)
- An Efficient Butterfly Communication Algorithm for Multi-port Boolean Cubes Xiaojing Wang, Z. George Mou (Brandeis University)
- Relationships between Typical Networks Masaru Takesue (NTT)
- ◇招待講演 (2) (14:30~16:00, A会場) 座長: 小柳 義夫 (東大)
- 未定
- ◇共有メモリ (16:30~18:00, A会場) 座長: 小池 汎平 (東大)
- 超並列システム用 OS「超流動 OS」における大域的仮想仮想記憶 平野 聡, 田沼 均, 須崎有康 (電総研)
- Memory-Based Processor による分散共有メモリ 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- メモリ・コンシステンシ・モデル—新しいモデルの提案, および, その能力比較— 徳永尚哉, 村上和彰 (九大)
- ◇並列プログラミング言語 (2) (16:30~18:00, B会場) 座長: 中島 浩 (京大)
- Unifying Control-and Data-Parallelism in an Object-Oriented Language Chu-Cheow Lim, Jerome A. Feldman, Stephan Murer (Univ. California, Berkeley)
- Modula-3*: An Efficiently Compilable Extension of Modula-3 for Problem-Oriented Explicitly Parallel Programming Ernst A. Heinz (Univ. Karlsruhe)
- Incorporating Locality Management and GC in Massively-Parallel Object-Oriented Languages 田浦健次郎, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)
- ◇スケジューリング (16:40~18:00, C会場) 座長: 市吉 伸行 (三菱総研)
- 双方向補完仮説と積木仮説に基づくマルチプロセッサ・スケジューリング 有田隆也, 高木浩光, 曾和将容 (名工大)
- Lower Bound on Time for Typed Task Systems with Communication Costs 李 鼎超, 有田隆也, 曾和将容 (名工大)
- On Scheduling Task Trees on Multiprocessors to Minimize Makespan Sanjeev Baskiyar, Richard Y. Kain (Univ. of Minnesota, Minneapolis)
- 第3日 5月19日 (水)——
- ◇プロセッサ (10:00~11:00, A会場) 座長: 村上 和彰 (九大)
- 命令並列処理機構を意識したスケジューリングを支援するレジスタ構成とその効果 藤井啓明, 稲上泰弘 (日立)

- スーパーカラーマイクロプロセッサの高バンド幅データキャッシュメモリレイテンシと性能評価—

中島雅逸, 中倉康浩, 吉田忠弘, 後井良之, 中居祐二, 瀬川礼二,
岩田 武, 石田健一, 福岡俊彦, 中野 拓 (松下電器)

◇配線問題 (10:00~11:00, B会場)

座長: 渡辺 俊典 (NTT)

- タイムワープによる並列無格子配線システム

松本幸則 (ICOT), 瀧 和男 (神戸大)

- プロセッサ競合方式による並列配線処理—引き剥し処理による品質改善—

佐野雅彦, 高橋義造 (徳島大)

◇データフロー (10:00~11:00, C会場)

座長: 平木 敬 (東大)

- データフロー計算機向けフローグラフの最適化—データフロー最適化コンパイラの一実現手法—

許 昭倫, 岡崎信一郎, 溝口正典 (NEC)

- Datarol マシンにおける並列展開戦略

星出高秀, 日下部茂, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)

◇負荷分散 (11:30~13:00, A会場)

座長: 後藤 厚宏 (NTT)

- 並列推論マシン PIM/p におけるクラスタ内自動負荷分散方式の評価

畑澤宏善 (富士通 SSL), 新井 進 (富士通)

- 疎結合型マルチプロセッサ上の拡散型動的負荷分散方式=LLS-G 方式=

佐藤令子, 佐藤裕幸, 中島克人 (三菱)

- マルチユーザ・オペレーティングシステムの基でのスヌープキャッシュの動作効率の評価

山崎秘砂 (日本 IBM)

◇数値計算 (11:30~13:00, B会場)

座長: 白川 友紀 (筑波大)

- 並列マシン Cenju 2 上の有限要素法による非線形変形解析

加納 健, 中田登志之 (NEC), 奥村秀人, 大竹邦彦 (航技研), 小池誠彦 (NEC)

- マルチグリッド前処理付き共役勾配法の並列化

建部修見 (東大)

- マルチプロセッサによる高速フーリエ変換の並列処理

金沢啓三, 仁木 登 (徳島大)

◇プログラミング環境 (11:30~13:00, C会場)

座長: 松岡 聡 (東大)

- Debut_L, programming filters and recognizers in a parallel debugger'

Hans Scholten, John Posthuma, Jan G. Wijnstra (Univ. of Twente)

- The M²-Cycle: A New Method for Analyzing the Behavior of Parallel Program

Andreas Quick, M. Siegle (Univ. Erlangen-Nürnberg)

- Interactive Compilation and Performance Analysis in a Percolation Scheduling Environment

Alexandru Nicolau, Steven Novack (Univ. of California, Irvine)

◇パネル・ディスカッション (14:30~17:00, A会場)

モデレータ: 島田 俊夫 (名大)

- 未定

◇閉会の辞・プログラム委員長挨拶 (17:00~17:10, A会場)

小柳 義夫

「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」

参 加 申 込 書

平成 5 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

	主催研究会会員	主催／協賛学会員	非 会 員	学 生
4 月 16 日まで	・ 18,000 円	・ 20,000 円	・ 25,000 円	・ 10,000 円
4 月 17 日以降	・ 23,000 円	・ 25,000 円	・ 30,000 円	

* 研究会会員／学会員の方は、下記氏名欄の後に研究会／学会名をご記入ください。

* 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基準とします。

○論文集のみ（5,000 円、送料込） _____ 冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・ 送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム（JSPP '93）係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者
連絡先 〒 _____機関・
部課名 _____フリガナ _____ 研究会／学会名（ _____ ）
氏 名 _____ 殿 会 員 番 号（ _____ ）

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

E-mail _____

チュートリアル「オブジェクト指向分析・設計」開催について

オブジェクト指向分析・設計は 1990 年代の方法論として、国内外で大変注目されていますが、実務への適用という観点では、課題が多く残されています。

そこで、本チュートリアルでは、オブジェクト指向とは何かという概論から、従来の方法論とは何が異なるのか、さらに、具体的にどのように有用なのかについて、ソフトウェア工学の立場から、理論から実践まで、幅広く議論します。

なお、本チュートリアルでは、講演途中での、司会者、フロアを交えての討議、会場での方法論の演習、本音の部分を引き出すことに留意したパネル討論などを企画しています。

日 時 平成 5 年 5 月 27 日 (木) 9:30~16:30

28 日 (金) 9:30~16:30

会 場 工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿)

参 加 費 ソフトウェア工学研究会登録会員 20,000 円、会 員 25,000 円
(資料代を含む) 学生会員 5,000 円、非会員 30,000 円

資料のみ 5,000 円 (送料込み)

申込締切 平成 5 年 5 月 10 日 (月) (定員 200 名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~プ ロ グ ラ ム (予定)~~~~~

第 1 日 5 月 27 日 (木)

開会の挨拶 (9:30~9:40)

原田 賢一 (慶大)

第 1 部

司会 大蒨和仁 (電総研)

- ・オブジェクト指向分析・設計総論 (9:40~10:30)

本位田真一 (東芝)

概要: オブジェクト指向分析・設計に関するさまざまな話題を整理する。

- ・オブジェクト指向とは (10:30~11:45)

飯島 正 (慶大)

概要: オブジェクト指向概念の本質を探る。

——昼 食 (11:45~13:00)——

第 2 部

司会 永田 守男 (慶大)

- ・オブジェクト指向分析・設計とは (13:00~16:30)

中谷多哉子 (富士ゼロックス情報システム)

概要: 事例と演習を通して方法論を体得する。

第 2 日 5 月 28 日 (金)

第 3 部

司会 佐伯 元司 (東工大)

- ・オブジェクト指向分析・設計と従来の方法論との比較 (9:30~11:45)

加藤 潤三 (EDS ジャパン)

概要: 仕様化プロセス、モデリング、教育の観点から、リアルタイム SA、JSD と比較、評価する。

——昼 食 (11:45~13:00)——

第 4 部

司会 青山 幹雄 (富士通)

- ・パネル討論: オブジェクト指向分析・設計の実際 (13:00~16:30)

概要: 実際のソフトウェア開発への適用体験に基づき、第 3 部までに登場した講演者も交えて討議する。適用に当たったの留意点、失敗体験、適用による教訓などを踏まえて、適用可能性、ソフトウェア生産性について議論する。

事例 1: OMT による画像ファイリング・システム

山城 明宏 (東芝)

事例 2: 設計支援ツール開発へのオブジェクト指向開発

鈴木 啓之 (日立)

事例 3: デジタル移動通信システムへの適用

梶原 清彦 (NTT)

「オブジェクト指向分析・設計チュートリアル」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記チュートリアルの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 25,000 円, 登録会員 20,000 円, 非会員 30,000 円, 学生 5,000 円

＊参加費には、資料代が含まれています。

○論文集のみ（5,000 円, 送料込）

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 チュートリアル係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____

会員番号

殿 (_____)

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集

——コンピュータグラフィクスの新たな展開——

グラフィクスと CAD の研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用、ハードウェアなどの分野で多くの興味深い話題を提供しております。当学会では過去 10 回、標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加を得て、大きな成果を得てまいりました。本年も下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、グラフィクスと CAD の分野における最新の成果、新しい手法の提案、今後の展望、先端技術の追及など、活発な意見交換や議論を喚起する、興味深い論文の応募をお願いいたします。

開催日時 平成 5 年 9 月 21 日 (火)～22 日 (水) 9 時～18 時

場 所 工学院大学新宿校舎 312 教室

テ ー マ (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)

- ・グラフィクスの基礎

表示、レンダリング、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、計算幾何学

- ・グラフィクスシステム

グラフィクス言語とソフトウェア、ディスプレイ、入力デバイス、ワークステーション、ヒューマンインタフェース、標準化

- ・グラフィクスの応用

アニメーション、アート、フラクタル、ビジネスグラフィクス、人工現実感、人物や自然物の表示、文書や画像の処理、サイエンティフィックビジュアルライゼーション、マルチメディア

- ・CAD

設計方法論、形状モデリング、ソリッドモデリング、図面の入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェント CAD、システム構成法

- 実施方法**
- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案などさまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
 - (2) A4 判用紙 2 枚以内の、論文内容がよく伝わるような論文概要 (2000 字程度で和文に限る) を提出してください。この用紙には、題名、氏名、所属、連絡先、分野を示すキーワードも併記してください。
 - (3) 応募論文は、シンポジウム実行委員会で審査いたします。採択されたものについては、本論文 (カメラレディ、本学会研究会様式で 10 ページ以内) を提出していただきます。カラーページも設けます (有償)。
 - (4) 採択された論文は、研究賞の対象となります。
 - (5) スケジュール

- ・論文概要提出締切り 平成 5 年 4 月 30 日 (金) 必着

- ・論文審査結果通知 同 6 月中旬

- ・カメラレディ稿締切り 同 7 月 30 日 (金) 必着

参 加 費 正会員 15,000 円、非会員 25,000 円、学生会員 5,000 円

申 込 先 情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

「知識のリフォーメーション」シンポジウム論文募集

「人工知能研究会」では平成3年11月27、28日東京大学において第一回「知識のリフォーメーション」シンポジウムを開催し、およそ100名の方に参加していただき、密度の高い議論を行うことができました。

知識のリフォーメーションとは、知識の表現形式を固定して内容を変化させようという学習研究分野における考え方と、逆に知識の内容を固定した上で表現形式を変化させようという知識表現研究分野における考え方を、知識の効率的な表現を目指した変化として統一的にとらえた新しい研究方向です。

今回その第二回を下記のとおり企画いたしました。知識のマクロ化・チャック化、知識表現の変換、メディアの変換、遺伝アルゴリズム、事例に基づく推論、コネクショニズムなど知識の表現形式と学習の両面からの研究を中心に論文を募集しますので、奮ってお寄せください。

日 時 平成5年11月25日(木)～26日(金) 9時～17時

場 所 東京工業大学百年記念館

主 催 情報処理学会人工知能研究会

協 賛 人工知能学会、電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会(予定)

トピックス (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)。

- ・知識のマクロ化・チャック化
- ・知識のコンパイレーション
- ・知識表現の変換
- ・メディアの変換
- ・遺伝アルゴリズム
- ・事例に基づく推論、記憶に基づく推論
- ・演繹学習
- ・帰納学習
- ・類推
- ・ニューラル・ネットワークとの融合
- ・説明に基づく学習
- ・マルチパラダイム学習
- ・知識ベースの獲得・管理と再構成

実施方法

- (1) 発表論文については、審査制とする。
- (2) 応募論文は、アブストラクトを含めるものとし、和文(A4判で10枚以内)または英文(A4判ダブルスペースで10枚以内)とする。ただし、英文論文には、別に和文アブストラクトを添付のこと。
- (3) スケジュールは次のとおりとする。
 - ・論文締切 7月31日(土)
 - ・受理通知 8月31日(火)
 - ・最終論文提出 10月16日(土)
- (4) 投稿料等はありませんが、発表者も参加費(会員一万円予定)が必要です。

応募される方は、論文3部を下記へご送付ください。

申込先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル27F

(社)情報処理学会「知識のリフォーメーション」シンポジウム係

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

問合せ先 211 川崎市中原区上小田中 1015 (研 60)

富士通研究所 ソフトウェア研究部 第一研究室 吉田 裕之

Email:yuki@flab.fujitsu.co.jp, Tel. 044 (754) 2675 FAX 044 (754) 2570



ADVANCE ANNOUNCEMENT

International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

ISADS 93

March 30-April 1, 1993 • Hitachi System Plaza • Kawasaki, Japan

Symposium-at-a-Glance

		Room A	Room B	Room C
Tuesday, March 30	9:30-10:40 am	Opening Session Keynote Address: Japan's Contribution to the World Through Science and Technology Speaker: Hiroshi Inose (NCSIS and MITI, Japan)		
	11:00 am-12:30 pm	A1: System Architecture Chair: E. Swartzlander (U. of Texas, USA)	B1: Object-Oriented Design Chair: R.C.T. Lai (ISPC, USA)	C1: Intelligent Distributed Computing Chair: L. Simoncini (U. of Pisa, Italy)
	2:00-3:30 pm	Plenary Panel P1: The Requirements and Role of ADS in Real-World Applications Chair: H. Kopetz (T. U. Wien, Austria)		
	4:00-5:30 pm	A2: Cooperative System Components I Chair: J. Pasquale (UCSD, USA)	B2: Programming Paradigms Chair: F.J. Wang (N. Chiao-Tung U., Taiwan)	C2: Robotics Chair: J.W. Cho (KAIST, Korea)
Wednesday, March 31	9:30-10:30 am	Keynote Address: The High Performance Computing and Communications Initiative in the U.S. Speaker: A. Nico Habermann (NSF, USA)		
	11:00 am-12:30 pm	A3: Cooperative System Components II Chair: H. Wedde (Wayne State U., USA)	B3: Scheduling Chair: H. Tokuda (Keio U., Japan)	C3: Mobile Robots Chair: C.W. Wang (Beijing I.S.E., China)
	2:00-3:30 pm	Plenary Panel P2: Are Autonomy and Predictability Antagonistic Concepts? Chair: G. Le Lann (INRIA, France)		
	4:00-5:30 pm	A4: Computer Supported Cooperative Work Chair: J. Kann (Allen-Bradley, USA)	B4: Protocols Chair: D.J. Farber (U. of Penn., USA)	C4: Fault-Tolerant Decentralized Control Chair: R. Schlichting (U. of Arizona, USA)
Thursday, April 1	9:30-10:30 am	Keynote Address: In Search of Service Engineering: The RACE Experience Speaker: Mario Philip Campalargo (Commission of the European Communities)		
	11:00 am-12:30 pm	A5: Decentralized Real-Time Systems Chair: E.D. Jensen (DEC, USA)	B5: Transportation Systems Chair: M. Ito (Nagoya U., Japan)	C5: Algorithms for Decentralized Applications Chair: D. Ferguson (IBM, USA)
	2:00-3:30 pm	A6: Highly Available Systems Chair: T. Masuda (U. of Tokyo, Japan)	B6: Flexible Manufacturing Systems Chair: C.M. Park (PIST, Korea)	C6: Modeling Living Systems Chair: C. V. Ramamoorthy (UCB, USA)
	4:00-5:30 pm	Plenary Panel P3: The Future of Autonomous Decentralized Systems Chair: D. Ferrari (UCB, USA)		

Symposium Location

ISADS 93 will be held in suburban Tokyo at the Hitachi System Plaza, Shinkawasaki 890 Kashimada, Saiwai, Kawasaki 211, Japan. The official language of the symposium will be English.

Plant Tours

Tours of the Kawasaki Steel Corporation and Central Japan Railway Company are scheduled for Friday, April 2.

For general information and an advance program, contact:

Stephen S. Yau, ISADS General Co-Chair
 Computer and Information Sciences Department
 301 Computer Science and Engineering Building
 University of Florida
 Gainesville, FL 32611-2024 USA
 Phone: 1-904-392-1211; Fax: 1-904-392-1220
 Email: yau@cis.ufl.edu

OR

Kinji Mori, ISADS Executive Secretary
 Systems Development Laboratory
 Hitachi, Ltd.
 1099 Ohzenji
 Asao, Kawasaki 215, Japan
 Phone: +81-44-966-9111; Fax: +81-44-966-6823
 Email: kmori@sdl.hitachi.co.jp

For registration information, contact:

Registration Office—ISADS 93
 c/o International Communications Specialists, Inc.
 Kasho Bldg.
 2-14-9 Nihombashi
 Chuo, Tokyo 103, Japan
 Phone: +81-3-3272-7981; Fax: +81-3-3273-2445

For hotel information, contact:

Japan Travel Bureau, Inc.—International Travel Division
 Convention Center (Ref. ED136003-007)
 1-13-1 Nihombashi
 Chuo, Tokyo 103, Japan
 Phone: +81-3-3276-7885; Fax: +81-3-3276-7806

Sponsored by:



IEEE Computer Society



The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.



Information Processing Society of Japan



The Society of Instrument and Control Engineers of Japan

In cooperation with:



International Federation for Information Processing



International Federation of Automatic Control

ISADS 93 Registration Information • Register Today!

To register, please complete this form and send with payment to:

Registration Office—ISADS 93, c/o International Communications Specialists, Inc., Kasho Bldg., 2-14-9 Nihombashi, Chuo, Tokyo 103, Japan
Phone:+81-3-3272-7981; Fax:+81-3-3273-2445

First Name _____ Middle Initial _____ Last Name _____

Mailing Address _____

City _____ State/Province _____

Country _____ Postal Code _____

Affiliation _____

Phone _____ Fax _____

Email _____

Member of: ☐ IEEE/CS ☐ IPSJ ☐ SICE Membership Number: _____

Do you have any special needs? _____

Accompanying Person: First Name _____ Last Name _____

Registration Fees

Please check the appropriate fee and complete the grand total amount in either Japanese ¥ or U.S. \$.

A. Registration**Advanced (Received by February 27, 1993)**

Member	¥45,500 or \$350
Non-Member	¥58,500 or \$450
Student Member	¥19,500 or \$150

B. Plant Tour (optional)**Advanced (Received by February 27, 1993)**

One Person	¥3,250 or \$25
Two Persons	¥6,500 or \$50

Late/On-site (Received after February 27, 1993)

Member	¥54,600 or \$420
Non-Member	¥68,300 or \$525
Student Member	¥19,500 or \$150

Late/On-site Registration (Received after February 27, 1993)

One Person	¥4,200 or \$32
Two Persons	¥8,350 or \$64

Grand Total (A+B): JP ¥ _____ (bank transfer or credit card) OR U.S. \$ _____ (bank transfer)

Payment Method

Bank drafts, money orders and personal checks are not accepted.

☐ Bank Transfer through the _____ to the account
name of: _____ your bank name

Account Name: ISADS
JP Yen Account No. 1092170; US\$ Account No. 1092189
Bank of Tokyo, Marunouchi Office, 1-4-2 Marunouchi,
Chiyoda Tokyo 100, Japan.
(please attach a copy of your Bank Transfer Order)

☐ Credit Card

The fee will be in JP Yen

☐ MasterCard ☐ VISA ☐ Diners Club ☐ American Express

Card Number _____

Exp. Date _____

Cardholder's Name _____

Signature _____

Meals:

☐ I request vegetarian meals

Members: Members of the IEEE, IEEE CS, IPSJ, or SICE may register by using the above member registration fee. The membership number of a sponsoring society must be given on the registration form.

Student Members: Student registration must attach a copy of IEEE Student Membership Card and a statement on your institution's stationery from your faculty advisor to certify that you are a full-time student at your institution.

Notes:

Advance registration is highly recommended to assure space availability and reduce the cost. The registration desk at the symposium site will be open March 30-April 1, 8:30 am-6:00 pm. All Symposium participants should proceed to the registration desk to pick up their badges, the final program and proceedings. Official symposium badges bearing the name and country of the participant will be issued to those who have registered and must be worn for admittance to all

symposium events. Badges will also be issued for registered accompanying persons and must be worn for admittance to appropriate events.

* The registration fee includes a copy of the proceedings, coffee and snacks, Tuesday night reception, Wednesday night party, and lunches. The student fee does not include the reception and party.

Payment:

Please do not combine registration fee and hotel deposit in the same payment.

Cancellations:

Registration and plant tour cancellations must be received in writing by the ISADS 93 Registration Office at the above address. If a refund is due, it will be made after the symposium:

Cancellations by February 27, 1993: 75% refund

Cancellations after February 27, 1993: No refund

「新年度にあたって（お願い）」

——会費・購読費の請求、新入会員勧誘など——

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきましてご協力いただきますよう、あわせてお願いいたします。

（１）平成５年度の会費および論文誌購読費の納入

１月中旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしましたので、未納の方は早急にご納入ください。また、預金口座振替の会員は**３月 29 日（月）**に自動振替いたしますので、ご留意ください。

なお、平成 6 年度会費から預金口座自動振替を希望する**正会員**（一括扱いの会員は除く）の方は、所定の預金口座振替依頼書（事務局会員係へお問合せください）によりお申込みください。

（２）大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年 3 月卒業予定の学生会員の方には、平成 5 年度会費は正会員（9,600 円）として請求いたしました。ただし、大学院修士課程に進まれる方は、学生会員として継続できますので、大学院名・研究科名・専攻名・修了予定年月をご連絡ください。

なお、１月上旬に「変更連絡届」用紙を送付いたしましたので、ご利用ください。

（３）退 会

書面（様式任意、はがき可）にてお申出ください。

なお、４年度会費が未納の場合には、昨年 4 月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。退会のお申出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

（４）学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（４月号、10月号に添付）にて早急にご連絡ください。

（５）論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」（月刊）は、有料頒布となっております。また、本年 1 月発行の第 34 巻 1 号から英文論文も掲載され、表紙デザインも一新するなど新しい装いの論文誌となりました。

11 月号本欄でお知らせしたとおり、欧文誌「JIP」は Vol. 15 をもって休刊となりましたので、欧文誌の購読者はぜひ新論文誌をご購読くださいますようお願いいたします。

新規に購読を希望される方は、2 月号本欄添付の購読申込書（コピー可）によりお申込みください。

※変更、新規購読等ご連絡の場合には必ず会員番号を明記してください。

（６）新入会員勧誘のお願い

3 月は入会に絶好のチャンスです。本号末尾綴込みの入会申込書（B 5 判）で、入会をご勧誘ください。情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。

なお、旧の入会申込書（A 4 判）は使用しないでください。

事務局との e-mail 試行開始のお知らせ

このほど学会事務局本部（新宿エステック情報ビル 27 階）に、WIDE インタネットのノード装置として働くワークステーション（SUN SPARC, 400 dpi のレーザプリンタ付）を設置いたしました。このノード装置は WIDE の東京 NOC（岩波書店）と専用線で接続されています。

現在、事務局では職員にメールの受信と送信の基本操作を教育中です。

そこで、会員の皆さまと事務局職員間の e-mail 試行を、下記により 2 月から開始いたしましたので、どうぞご利用ください。

記

1. 学会ノードの名称および IP アドレス ipsj.or.jp
2. 事務局職員のメール・アドレス（当面、各係 1—2 名で試行開始）

登録者氏名	担当係名	メール・アドレス
飯塚 浩司	事務局長	iizuka@ipsj.or.jp
土川 佳男	業務部長	tsuchi@ipsj.or.jp
伊藤 早苗	会 員	ito@ipsj.or.jp
老川ひろ子	経 理	oikawa@ipsj.or.jp
西形 伸次	編 集	nisikata@ipsj.or.jp
津田かおり	編 集	tuda@ipsj.or.jp
島貫 英樹	大 会	simanuki@ipsj.or.jp
中田志麻子	研 究 会	nakada@ipsj.or.jp
横山美和子	国 際	yokoyama@ipsj.or.jp

3. 試行開始時の機能

会員の皆さまからのメールを、そのままレーザプリンタで A 4 シートにプリント出力するように設定してあります。そこで、暫くの間、オフセット原紙とする原稿については、現行どおり郵送していただきますようお願いいたします。

4. 機能の拡大等

会告情報の掲示と申込、投稿の受け口、情報の提供、その他については、今後、順次進めていく計画です。なにぶん素人集団ですので、会員の皆さまのご指導、ご後援をよろしくお願い申しあげる次第です。

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

<国内会議>

Advanced Imaging '93

平成 5 年 4 月 16 日 (金)

東京・工学院大学

第 7 回 通信サービスシンポジウム

平成 5 年 4 月 21 日 (水)

東京・松下電器産業

講習会「マイクロ知能化情報機械」

平成 5 年 5 月 20 日 (木)～21 日 (金)

東京・中央大学

第 3 回 設計工学・システム部門講演会

平成 5 年 6 月 16 日 (水)～17 日 (木)

東京 (未定)

ROBOMECH '93

平成 5 年 7 月 6 日 (火)～7 日 (水)

北海道大学

日本生物工学会シンポジウム

平成 5 年 7 月 12 日 (月)～13 日 (火)

大阪市立大学

開放型ソフトウェア統合基盤チュートリアル

平成 5 年 7 月 12 日 (月)～13 日 (火)

東京・池袋サンシャインシティ

平成 5 年電気学会電子・情報・システム部門大会

平成 5 年 7 月 15 日 (木)～16 日 (金)

千葉・東京理科大学

Dynamics and Design Conference 1993

平成 5 年 7 月 19 日 (月)～23 日 (金)

東京・北とぴあ

日本医学物理学会第 10 回 研究発表会

平成 5 年 7 月 22 日 (木)～23 日 (金)

東京医科歯科大学

第 14 回 バイオメカニズム学術講演会

平成 5 年 10 月 18 日 (月)～19 日 (火)

名古屋大学

第 4 回 計算論的学習理論ワークショップ

平成 5 年 11 月 8 日 (月)～10 日 (水)

東京・八王子セミナーハウス

<国際会議>

SYNAPSE '93

1993 年 6 月 24 日 (木)～25 日 (金)

大阪・千里阪急ホテル

システム監査アジア・太平洋会議

1993 年 8 月 30 日 (火)～9 月 1 日 (水)

東京・虎ノ門パストラル

Human Genome Mapping Workshop 93

1993 年 11 月 14 日 (日)～17 日 (水)

神戸国際会議場

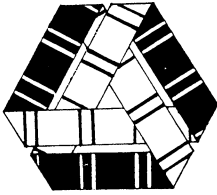
1994 Topical Meeting of the International Commission for Optics

1994 年 4 月 4 日 (月)～8 日 (金)

国立京都国際会館

*詳細は本号会議案内欄参照

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）．会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください．（国内連絡先が記載されている場合は除く．）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

DASFAA '93—The 3rd Int'l, Symposium on Database Systems for Advanced Applications (008)

1. April 6-8, 1993
2. Taejon, Korea
3. 図書館情報大学図書館情報学部 増永 良文
Tel. 0298 (52) 0511, FAX 0298 (52) 4326
E-mail: masunaga@ulis.ac.jp

Advanced Technology Short Courses on Communications, Signalling & Networks (009)

- 1.2. U.K.: June 7-17, 1993
Spain: October 18-21, 1993
Germany: January 31-February 3, 1994
3. Mrs Tina Persson, Marketing Manager, CEI-Europe,
PO Box 910, S-61225 FINSPONG, Sweden.
Phone +46-122-17570. Telefax +46-122-14347.

SYNAPSE '93 (010)

1. 1993 年 6 月 24 日 (木)~25 日 (金)
2. 千里阪急ホテル (大阪府豊中市)
3. (財)千里国際情報事業財団 SYNAPSE '93
事務局 Tel. 06 (373) 5319, FAX 06 (313) 0357,
E-mail: ikeda@senri-i.or.jp.
4. 参加料: 一般 35,000 円, 会員 30,000 円, 大学関係者 10,000 円, 学生 3,000 円

システム監査アジア・太平洋会議 (011)

1. 1993 年 8 月 30 日 (火)~9 月 1 日 (水)
2. 虎ノ門パストラル
3. EDP 監査人協会東京支部
Tel. 03 (3249) 2947, FAX 03 (5640) 8560
4. 受講料: 70,000 円 (予定)

RO-MAN '93 Tokyo—第 2 回 IEEE 国際ワークショップ「ロボットと人とのコミュニケーション」 (012)

1. 1993 年 11 月 3 日 (水)~5 日 (金)
2. 東京理科大学 (新宿区神楽坂)
3. 東京理科大学工学部機械工学科 原文雄
Tel. 03 (3260) 4271, FAX 03 (3266) 0394
4. 論文締切: 1993 年 5 月 15 日

HGM 93—国際ヒトゲノム会議 93 (013)

1. 1993 年 11 月 14 日 (日)~17 日 (水)
2. 神戸国際会議場
3. 大阪大学細胞生体工学センター 松原 謙一
Tel. 06 (877) 5111

CONTROL '94 (014)

1. March 21-24, 1994
2. Coentry, UK
3. Louise Bousfield CONTROL '94 Secretariat Conference Services Savoy Place, London WC2R 0BL, UK
Tel: +44(0)71-240-1871 Ext: 222,
Telex: 261176 IEE LDN G,
FAX: +44(0)71-497-3633
4. Receipt of Synopsis: July 15, 1993

1994 ICO Topical Meeting—1994 年国際光学委員会研究集会 (015)

1. 1994 年 4 月 4 日 (月)~8 日 (金)
2. 国立京都国際会館 (左京区宝池)
3. (株)ジェイコム内
1994 年国際光学委員会研究集会事務局
Tel. 075 (341) 1618, FAX 075 (341) 1917

国内会議

Advanced Imaging '93「メディア統合技術」

1. 1993 年 4 月 16 日 (金)
2. 工学院大学 (東京都新宿区)
3. 画像電子学会
Tel. 03 (3490) 2940, FAX 03 (3490) 3810
4. 参加費: 会員 17,000 円, 学生 5,000 円,
非会員 22,000 円

第 20 回 Japan SIGAda

1. 1993 年 4 月 21 日 (水)
2. テクノウェイブ 100 (横浜市神奈川区新浦島町)
3. Japan SIGAda 運営委員会
NTT ソフトウェア研究所 田中 清
Tel. 03 (3740) 5719

第 6 回 学協会共通問題に関する討論会

1. 1993 年 4 月 21 日 (水)
2. 鹿島 KI ビル (東京都港区赤坂)
3. (社)日本工学会
Tel. 03 (3475) 4621, FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費: 1,000 円

第7回 通信サービスシンポジウム—通信の進化と私たちの生活—

1. 平成5年4月21日(水)
2. 松下電器産業(株)情報通信システムセンター(東京都品川区東品川)
3. NTT 横須賀研究開発センター 412A 内
(社)電子情報通信学会 情報通信サービス研究会事務局
川嶋 伸夫
Tel. 0468 (59) 8261, FAX 0468 (59) 3784

セイフティクリティカルソフトウェアに関する講演会

1. 平成5年4月26日(月)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. (財)日本情報処理開発協会 開発研究室
Tel. 03 (3432) 9391, FAX 03 (3431) 4324
4. 参加費: 5,150 円

'93 新素材展併設セミナー・シンポジウム

1. 平成5年5月18日(火)~21日(金)
2. 幕張メッセ(千葉市)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部
Tel. 03 (3243) 9082, FAX 03 (3243) 9086

講習会「マイクロ知能化情報機械」

1. 平成5年5月20日(木)~21日(金)
2. 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
3. (社)日本機械学会
Tel. 03 (3379) 6781, FAX 03 (3379) 0934

第3回 設計工学・システム部門講演会

1. 平成5年6月16日(水)~17日(木)
2. 東京
3. 主催: (社)日本機械学会
問合せ先: 東京都立科学技術大学
管理工学科 福田 収一
Tel. 0425 (83) 5111 (内 226), FAX 0425 (83) 5119

ROBOMECH '93—ロボティクス・メカトロニクス講演会 '93

1. 平成5年7月6日(火)~7日(水)
2. 北海道大学(札幌市北区)
3. (社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門
Tel. 03 (3379) 6781, FAX 03 (3379) 0934

日本生物工学会シンポジウム

1. 平成5年7月12日(月)~13日(火)
2. 大阪市立大学(住吉区杉本町)
3. (社)日本生物工学会
Tel. 06 (876) 2731, FAX 06 (876) 2773
4. 参加費: 会員 3,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 5,000 円

開放型ソフトウェア統合基盤チュートリアル

1. 1993年7月12日(月)~13日(火)
2. 東京・池袋サンシャインシティ・コンベンションセンター
3. (財)京都高度技術研究所 研究企画部
Tel. 075 (315) 8653
4. 参加費: 1日 30,000 円, 2日 50,000 円

平成5年電気学会電子・情報・システム部門大会

1. 平成5年7月15日(木)~16日(金)
2. 東京理科大学理工学部(千葉県野田市)
3. (社)電気学会 電子・情報・システム部門大会係
Tel. 03 (3201) 0983
4. 参加費: 会員 8,000 円, 学生 3,000 円, 非会員 15,000 円

Dynamics and Design Conf. 1993—快適空間の創造をめざして—

1. 平成5年7月19日(月)~23日(金)
2. 北とぴあ(東京都北区王子)
3. (社)日本機械学会
4. Tel. 03 (3379) 6781, FAX 03 (3379) 0934

日本医学物理学会第10回 研究発表会

1. 平成5年7月22日(木)~23日(金)
2. 東京医科歯科大学(文京区湯島)
3. 東京医科歯科大学歯科放射線教室内
日本医学物理学会第10回研究発表会事務局
Tel. 03 (3813) 6111 (内 5261), FAX 03 (5684) 4234
4. 講演申込締切: 平成5年4月30日(金)

第14回 バイオメカニズム学術講演会

1. 1993年10月18日(月)~19日(火)
2. 名古屋大学工学部
3. 主催: バイオメカニズム学会
問合せ先: 愛知工業大学電子工学科生体工学研究室内
第14回バイオメカニズム学術講演会事務局
Tel. 0565 (48) 8121 (内 229), FAX 0565 (48) 0020
4. 講演申込締切: 1993年6月15日(火)

第9回 ヒューマン・インタフェース・シンポジウム

1. 1993年10月18日(月)~20日(火)
2. 神戸商工会議所会館
3. 京都工芸繊維大学工学部電子情報工学科 田村研究室
(社)計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会事務局
Tel. 075 (701) 7391, FAX 075 (701) 7391
E-mail: hi@hisol.dj.kit.ac.jp
4. 発表申込締切: 1993年4月30日(金)

ALT '93—第4回 計算論的学習理論ワークショップ

1. 1993年11月8日(月)~10日(水)
2. 八王子セミナーハウス(東京・八王子市)
3. 主催: (社)人工知能学会
論文送付先: 電気通信大学情報工学科 横森 貴
Tel. 0424 (83) 2161 (内 4375), FAX 0424 (82) 3055
4. 論文締切: 1993年4月30日(金)

教官募集



○大学等情報関係教官募集

職業訓練大学校情報工学科

募集人員 助教授または講師 2 名以内
 所 属 情報工学科
 専門分野 情報工学またはその関連分野
 応募資格 概ね 40 歳以下でコンピュータプログラミング、コンピュータネットワーク、情報数学、ハード、ソフトウェア関連科目の講義、実習担当可能な者。
 着任時期 平成 5 年 10 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷
 応募締切 概ね平成 5 年 4 月中旬
 送付先 229 相模原市橋本台 4 丁目 1 番 1 号
 職業訓練大学校情報工学科
 小林正樹または大野桂一
 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書きし、書留。
 問合せ先 同上
 Tel. 0427 (63) 9180, 9178

平成 5 年 4 月 1 日から職業訓練大学校は、職業能力開発大学校に校名を改正いたします。

福岡工業大学電子工学科

募集人員 教授 1 名
 所 属 電子工学科
 専門分野 電子、電気、情報工学、およびその関連分野
 担当科目 電子情報機器学（電子回路、論理回路など）または情報処理工学（計算機工学、アセンブリ言語など）
 上記の専門分野を専攻し、その分野の博士の学位を有し教育経験を有する 60 歳以上の者。
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リストおよび主要論文の別刷。
 応募締切 平成 5 年 4 月 30 日
 送付先 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1
 福岡工業大学教務課長 石田隆男
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
 FAX 092 (606) 8923
 問合せ先 同上 電子工学科教室主任 山下鹿喜智
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2358)
 FAX 092 (608) 5014

大学院（修士課程・申請中）の研究指導も可能な者。

四條学園女子短期大学

募集人員 若干名（教授、助教授および専任講師）
 専門分野 経営実務へのコンピュータ応用のための情報処理関連の講義、演習担当（プログラミングの講義、演習担当可能な者が望ましい）。
 応募資格 原則として、博士の学位取得者で、教育研究の能力のある者、ただし、専任講師は大学院博士後期課程を単位取得の上修了した者でも可。
 着任時期 委細面談
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、および主要論文の別刷、またはコピー。
 応募締切 平成 5 年 4 月 30 日
 勤務場所 四條学園女子短期大学
 送付先 574 大阪府大東市学園町 6 番 45 号
 四條学園女子短期大学事務長 金田一郎
 問合せ先 同上 学長 山口益郎
 Tel. 0720 (79) 7231 FAX 0720 (76) 4515

大阪府立工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 助教授または講師 1 名
 専門分野 情報工学関連分野（ソフトウェア、ハードウェア、情報ネットワーク等のいずれか）
 応募資格 修士課程修了者（平成 6 年 3 月修了見込みを含む）またはそれと同等以上の学力を有し、教育・研究に熱意がある者。
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書（所定様式）、研究業績書（所定様式）、および主要論文の別刷、成績証明書（学部および大学院）は新卒者のみ。
 応募締切 平成 5 年 5 月 28 日
 送付先 572 大阪府寝屋川市幸町 26-12
 大阪府立工業高等専門学校長 斎藤昭三
 電子情報工学科主任 原田啓次
 Tel. 0720 (21) 6401 (内 546)
 FAX 0720 (21) 0134

福岡工業大学情報工学科

募集人員 教授または助教授 1 名
 所 属 情報工学科
 専門分野 情報・通信関連分野
 担当科目 情報通信システム、言語情報処理に関連した科目
 応募資格 専門分野のうち特に学科目に関連ある課題についての研究業績があり、博士の学位を有する者。教授は 55 歳以上の者、助教授は 40 歳以下の者、教育経験のある方が望ましい。
 着任時期 平成 5 年 10 月 1 日
 応募締切 平成 5 年 5 月 31 日
 提出書類 履歴書、研究業績リストおよび主要論文の別刷
 送付先 911-02 福岡市東区和白東 3-30-1
 福岡工業大学教務課長 石田隆男
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
 FAX 092 (606) 8923
 福岡工業大学情報工学科
 教室主任 岩重二郎 (内 2465)
 大学院（計画中）の研究指導も可能な者。

龍谷大学理工学部数理情報学科

募集人員 教授、助教授または講師 1 名
 専門分野 計算機科学・工学、情報処理
 担当科目 計算機・情報処理関係
 応募資格 教授 専門分野において著しい業績があり、教育に熱意のある者。年齢は 50 歳以上が望ましい。助教授・講師 専門分野における博士の学位を有する者、あるいは専門分野に研究業績があり近い将来に学位取得の見込みのある者。年齢は 37 歳以下が望ましい。
 着任時期 平成 5 年 10 月 1 日予定
 応募締切 平成 5 年 5 月 31 日
 提出書類 履歴書、業績説明論文リスト、主要論文の別刷、推薦書（推薦者のある場合）。
 送付先 520-21 大津市瀬田大江町横谷 1-5
 龍谷大学理工学部数理情報学科主任 小澤孝夫
 数理情報学科 小澤孝夫 Tel. 0775 (43) 7505
 林 晋 7504

東京工芸大学工学部情報処理教育研究センター

募集人員 助手 1 名
 専門分野 電子・情報工学とその関連分野
 応募資格 修士またはこれと同等の能力・業績があり、C 言語のプログラミング指導能力とシステム管理の能力を有する者。（着任時 31 歳程度まで）
 着任時期 平成 5 年 9 月
 提出書類 履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷（コピー可）。
 応募締切 平成 5 年 7 月 25 日
 送付先 243-02 厚木市飯山 1583
 東京工芸大学工学部情報処理教育研究センター長 難波江章
 Tel. 0462 (42) 2513 FAX 0462 (42) 3000

雑 報



○平成6年度基礎科学特別研究員募集

採用予定 25名程度
 受入機関 理化学研究所
 募集分野 物理学, 化学, 生物学, 工学の各分野で, 理化学研究所で実施可能な研究
 応募資格 原則として平成6年4月1日現在35歳未満の健康な者で, 博士号取得者またはこれと同等の研究能力を有すると認められる者.
 待遇等 ①謝金 月額485千円程度(社会保険料, 税込)
 ②通勤費 実費(上限40千円/月)
 ③住宅費 家賃の一部支給
 以上のほか, 研究費として1,380千円/年程度
 契約期間 連続して最長3年間を限度とし, 毎年度所要の評価により契約更新
 募集締切 平成5年6月15日(火)必着. 応募者は6月1日(火)までに問合せのこと.
 その他 本件は関係予算の成立を前提としており, その事情により変更があります.
 問合せ先 350-01 埼玉県和光市広沢 2-1
 理化学研究所研究業務部基礎科学特別研究員制度担当
 Tel. 048 (462) 1111 (内 2451~2)
 048 (463) 3687 (直)
 FAX 048 (462) 1554, 048 (462) 4608

○電気通信普及財団「平成4年度福祉, 文化事業および海外渡航旅費援助」

電気通信を利用した福祉, 文化事業および電気通信に関する学术交流, 国際協力に対する援助を行います. 詳細は下記へお問い合わせください.

申込受付

特別講義開設援助 平成5年5月1日~9月30日
 海外渡航旅費援助 毎年4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月の各1日まで(必着)にそれぞれ翌月1日から1年先までの旅行について, 受付ける.

その他の援助 平成5年5月1日~5月31日

問合せ先 105 港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル5階
 (財)電気通信普及財団
 Tel. 03 (3580) 3411 FAX 03 (3580) 3488

編集室



会員の声

●学会誌改善について一偶数頁が解説などの開始頁になっていることがあるが, 奇数頁開始に統一できないだろうか? このようにすると資料としてまとめるときにまとめやすいのではないだろうか.

(山城健司 (株)SCC)